

会長挨拶

会長 谷 雅 雄

東京都スキー連盟の平成14年度事業は無事終了いたしました。これも、加盟団体並びに会員の皆様と、関係各位のご支援ご協力の賜と深く感謝いたします。

これからの予算、事業計画、事業執行においては当該年度だけでなく、将来の世代の連盟を考えることが必要だと思います。

大きな組織といわれている本連盟の社会的な認知度を上げ、スキー連盟としての社会的な位置づけを向上させること、社会、文化に貢献することも、これから考えて執行していかなければならない必要なことではないでしょうか。

結果、加盟団体の会員の社会的な位置づけを更に向上させることではないでしょうか。そのためにも、連盟運営は足場をしっかりと固めなければならないと考えます。昨年この時期に発行しました48号の内容と変わらないことが必要だと考えますので引用致します。

1. 本連盟を取り巻く環境は、加盟団体数、会員登録数の推移などから、将来の本連盟の状況を推察すると、財政的にはまだまだ厳しい取組をしていかなければならないものと考えております。
2. 今後の課題としては、事務手続の合理化、迅速化などによる利便性の向上、情報伝達の迅速化、各事業の合理性の追求、基本理念の更なる確立などの改善を実行して行かなければなりません。
3. これらのことを推進し実現して行く為には、まだ時間を要しますので、この点にご理解を賜りたいと考えております。
4. このような、執行を今後も当然のこととして続け、本連盟の財務体質を強化改善し、将来に向けてより安定した財政的な基盤を作ることが必要であると考えております。

現実問題としては、現在スキー界が置かれている状況は連盟だけの問題ではなく、各加盟団体の問題でもあるとの認識に立ち、連盟は各加盟団体が実施することが出来ることまで事業にしてしまうのではなく、本連盟ができる規制緩和と融合を出来るだけ広く考え協力することも必要と考えております。

そのためにも執行者の柔軟な発想が必要であり、物事を囲い込む狭い考えに捕らわれないよう心がけるべきと考えます。

思考を含め、更に整理、整備、構築、執行するようこれからも努めるべきであろうと考えております。加盟団体、会員の皆様には今後とも、より一層のご協力ご支援を宜しくお願い申し上げます。

平成14年度報告

専務理事 副 島 茂

東京都スキー連盟は、平成12年度から3年間におよぶ緊縮財政下での予算執行でありましたが、平成14年度の雪上行事も4月中旬に無事終了いたしました。このことは、加盟団体、会員、専門委員及び関係する皆様方のご支援ご協力の賜物と、こころより感謝いたしております。

さて、私も東京都スキー連盟におきましても、現状の社会情勢と同様連盟を取り巻く環境はまだまだ厳しいものがあります。今後も予算編成においてはこのような状況を視野に置いた執行管理をしていかなければならないものと感じております。関係する皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

現在、平成14年度の仮決算及び平成15年度の事業、予算の立案に入っておりますが、本年度の反省点をも含めて、来年度に反映させていきたいと検討しております。

平成14年度につきましては、次の報告をさせていただきます。

- ・ 65周年記念式典が平成14年8月25日に赤坂プリンスホテルにて多数の出席者を得まして盛大に行われました。これは、55周年記念式典以降より10年振りに開催したものです。
- ・ 3本部体制が2シーズン目となりましたが、大きな問題なく行事が執行されました。
- ・ 加盟団体からの懸案でありましたHPを開設いたしました。今後、よりタイムリーな情報伝達につとめて行く予定です。
- ・ クラブ対抗競技会が、教育本部の基礎種目を加え2回目の競技会になりました。昨年同様に参加者が800名余となりました。内容を検討し、より進化させたいと考えております。
- ・ 第57回冬季国体が、妙高高原にて開催されました。東京都は10年振りに総合第7位に入賞いたしました。
- ・ 教育本部の研修会は、12月中で過去最高の出席者となりました。
- ・ 総務本部においては、事務局との連携を図り、事務局内の管理体制を実行するようになりました。事務局と、より密に連盟全体運営に努力をいたしてまいりました。
- ・ 安全対策委員会は安全の便りを発行して、啓蒙活動により力を注ぎました。
- ・ 従前から検討していた事務局セキュリティーについて、本年2月より警備会社に委託しました。

上記以外にも多くの事項がありましたが、各行事におきましても、各本部においてその都度前例を踏襲することなく、より改善を図るなど、会員の皆さんの参加しやすい体制を検討しながら、進めております。

上記のとおり報告をさせていただきました。行事の立案や執行については、加盟団体や会員の皆様方のご支援ご協力なくして、成しえるものではありません。今後ともよりご支援の程お願い申し上げます。

総務本部事業報告

総務本部長 杉崎 寿三男

谷会長のもと現執行部が2年目の行事も無事終了することができました。これもひとえに会員皆様方の協力のおかげと感謝申し上げます。合理性、整合性、平等性を基本理念のもと総務本部は、執行をおこなって参りました。表面的には今までの総務本部とあまり変わってないかもしれませんが、基本的な考えは徐々に総務本部、事務局に浸透してきていると思います。

総務本部として本年度最大の行事は、多くの加盟団体・他県連・スキー場関係・スキー業界等600余名の皆様が参加していただき、平成13年8月25日赤坂プリンスホテルで盛大に開催されました。総務本部の事業として2年目を迎えたクラブ対抗競技会は、地元又協賛各社の協力の下昨年以上の盛り上がりがありました（今年は普平観光協会の豚汁の提供が好評でした）。来年度もより多くの参加者がいることを期待しております。平成14年5月には、ホームページが開設され、皆様により早く情報を伝達していきたいと思っております。14年2月に事務局のセキュリティーを「セコム」に依頼しました。又事務局内の整理も順調に進みスムーズな事務処理ができると思っております。規約・規定に関しても、より整合性を重視し又不備のあるもの規定のないものの改訂、制定を行って参りました。教育・競技の行事を裏から支え東京都スキー連盟の組織を維持することをこれからも続けて参ります。まだ解決すべき課題は多くあると思っておりますが徐々にその解決方法を総務本部として見つけていきたいと思っております。

平成14年度(2002年度)の行事について

教育本部長

中根晴一

今年度の教育本部事業では、年内研修会理論を4会場ごとにそれぞれの分野で活躍をしている外部講師を招いての講演をしていただきました。研修テーマとは別にこのような外部の話普段聞く機会の少ない講演も違う視野が生れてくるのではないかと考えます。今年度は、前記のように外部の講師等の風を入れる試みを行いました。北海道の実技研修会では、指導員検定受検班を設定し受検種目について実際にジャッジを行う検定会場の目でアドバイスをもらい、方や一般研修班では北海道スキー連盟所属のデモンストレーターを講師に研修を実施しました。参加者の声は「初めての試みで非常に良い研修会でした」との評価を受けている。

また、最終の研修会ではタイムレースを取り入れ、早朝のバーンコンディションの良い時に記録会を実施し競技に関心の高い研修生に好評でした。

更に、現役デモンストレーター「志鷹慎吾氏」を講師に招いたレベルアップ講習会や技術選手権大会でも外部のジャッジマンを加えての運営など、外部の風を取り入れながら都連全体の向上を目指しての事業として来ました。

次年度以降もこのような研修会・その他事業の形態を取り入れながら各行事出来るだけ特色を持たせた事業の実施を目指したいと考えています。

ここで来年度の事業傾向に若干ふれますと、都連も全国の年齢構成と同じでシニアの資格者・会員の方々が多くなっています。シニア(資格受験者含む)の方々におおいに「楽しむ又上達」して頂きたいと考えていますので2003年度の行事を見てください。

平成14年度(2002年度)行事報告

競技本部長

尾山正人

今シーズンは、行事への参加者数が非常に気になったシーズンでした。おかげ様で各行事(大会含む)とも予定者数になり、ホッとしております。

全国中学、全国高校で入賞者やジュニアオリンピック出場資格を得たり、良かったのではないかと考えております。

国民体育大会に於いては、アルペン女子B組、男子B組、C組、クロスカントリー女子A組、男子リレーなどで優勝者、入賞者を数多く輩出し総合7位となり、閉会式で谷会長が賞状を受け取られ、参加役員一同、来年は6位、5位と成績を上げることを目標にして国民体育大会は終わりました。

都連の競技会場は、SAJ公認コースで行うこと(ジュニアは除く)で数年計画をし実行してきております。選手の皆様も競技本部の考え方が伝わってきていると思いますが中身のある大会を目指し、努力して行くつもりであります。これからポイントが発表になりますが、来シーズンも良い成績になるよう頑張ってください。

ヨーロッパ・テイストの広大な12のゲレンデ 菅平高原は
東京都スキー連盟の皆様のホームゲレンデとして長く愛されています。
個性あふれるスキーエリアに描かれる新しい時代のシュプール。
築き上げたパートナーシップも、さらに新しく、さらに確かな領域へ。

永遠のホワイト・ステージ 菅平高原

TEL.0268-74-2003 <http://sugadaira.com> E-mail: info@sugadaira.com

新潟妙高国民体育大会

天皇杯（男女総合） 7位

男子 クロカンリレー 8位

国民体育大会に出場しての感想

今年で、国体出場は4回目となりますが、高校生の時以来出場していないので3年ぶりの出場でした。久しぶりの国体ということで、緊張するかと思いましたが、それほど緊張はしませんでした。大会当日は、雪も降っていない走りやすい状態でした。僕は、東京都予選で優勝したので、スタート位置はかなりいい所で出来とても良かったです。レース序盤は、体も動き、調子よく走れました。中間地点での通過タイムでは2位だったのですが、グリップワックスがきつかったため下りがあまり滑らなく感じました。自分でも後半疲れが出てきていることは感じたのですが、下りで抜かれたのがとても悔しかったです。体調は良かったので、次のリレーでは必ずいい走りを目指していました。結果は6位だったのですが自分としては調子が良かったぶん、納得のいく結果ではありませんでした。個人の表彰式では、東京都の関係者がたくさん見に来てくれたのでとても嬉しかったです。リレー競技では、昨年7位だったので、今年は、メンバー的にレベルアップしているので良い結果がでると思いました。僕は、第4走者で、タッチを受けたときは、13位か14位だったと思います。どうしても入賞したかったので、必死で走りました。5キロ地点で8位に一分差ということを知ってなんとか抜けると思いました。8キロ地点ぐらいで8位だった秋田県を抜き8位になったのですが、7位のチームが全然見えなかったもので、7位になるのはだめかなあーと思いました。残り300mぐらいで7位のチームが見えたのですが、追いつけず8位でした。でも目標であった8位入賞を果たせたので、良かったと思います。自分も4走では、ラップも取れて全員のタイムの合計も3位だったので満足でした。今年の国体は、決して満足のいく結果では、ありませんでしたが、ワックスやサポート面でも色々お世話になり、東京都スキー連盟関係者の人達にはとても感謝しています。来年は、個人で優勝、リレーでも3位入賞を目指し頑張っていきたいと思います。

溝渕 勇司

所 属 日本大学文理学部体育学科4年（スキー部）

出身地 北海道留萌市

クロスカントリーの主な成績

☆ 札幌国際スキー大会50km（F） 優勝

☆ 全日本選手権スプリント 3位

30km（F） 優勝

50km（C） 3位



SKYPARK HOTEL

Natural Wedding

Stay

アットホームな洋風スタイルから
山荘の伝統建築までおふたりに
あった、おふたりのためのウェディ
ングスタイルをご提案しております。



1泊朝食付9000円～
空に揺られながら、心もさわやかにVIP
レッシュ。
リゾートという特別な場だけに呼ばれる貴族
なときの1過ごし方・・・



<http://www.kurumayama.co.jp/skyparkhotel>

長野県茅野市ビーナスライン車山高原
☎ 0266-68-2221





いつまでも楽しいスキーを!

アシックススキークラブ 伊藤 政照

1992年、初めての全日本技術選手権、全日本デモンストレーター選考会への挑戦でデモンストレーターに認定され2002年の任期終了までの5期10年、多くの人に支えられながらデモンストレーターを努めさせていただきました。10年間、デモンストレーターとして活動した中で自分自身、感じたことを少々述べてみたいと思います。

私は生まれも育ちも北海道で気が付いたときにはスキーに夢中でした。冬になると毎日のように学校から帰ると裏山で、また、休みの日は地元のスキー場で飛んだり、跳ねたり、回ったり、滑ったりと志向にこだわらずスキースポーツを思いっきり楽しんでいました。気が付けばいつしか競技スキーに熱中し世界のトップレーサーに憧れ過酷なトレーニングを積む生活を始め、その後、日本を代表するナショナルチームにも選ばれ子供の頃から憧れていたワールドカップという舞台を転戦することになり世界各国のスキー場で世界のトップレーサーとともに滑ることが出来ました。

1991年にレースの現役を引退したわけですが当時、競技出身者が引退後、基礎スキーの華やかな世界に参入すると言うのが一般的な流れになっていました。実際、私も同じ立場になってしまいますが本当は基礎スキーを自分がやるとは全く考えてもいませんでした。自分自身、スキーの経験を生かし何が出来るか模索している時にたまたま初心者にスキーを教える機会があり、そこで教えることの楽しさと喜びなどのすばらしさを見つけることができそれがきっかけとなりそれまでとは違った形でスキーと接していけるのではないかと考え基礎スキーを始めようと決意したわけです。

私のスキー感って何かと考えたとき根底にあるのは「スキーを楽しむ!」って言うことがすべてと言えます。幼少の頃、仲間とわいわいガヤガヤと飛んだり跳ねたり、コース無き雪山を滑りまわり雪と戯れる楽しさを求め、競技スキーでは苦しいトレーニングに耐えながらも人よりも早く滑る、コースを克服する、また、勝つことの快感などの楽しさを求め、基礎スキーでは人を教える、教えたスキーヤーがどんどん上手くなる、いろんな人にスキーのすばらしさを伝えられるなどの楽しみを感じながらスキー人生を送ることができたと思います。特に基礎スキーの世界に入ってからスキー技術を理解することの面白みはもちろん、スキー界だけではなくいろんなジャンルの人々と接することができ自分にとって新しいことの発見が多く刺激になりました。

その基礎スキー界で10年間、デモンストレーターとして活動し印象に残ったのは技術的なことについて熱心なスキーヤーが多いと言うことです。技術を分析、理解しようとする姿勢を前にとすると私も更に努力をしなければと痛感させられます。しかしながら反面、技術を追い求めすぎて行き詰まっているスキーヤーが見受けられます。何かに行き詰まっているスキーヤーは常に最上の技術だけを求め何が何でもそれだけと決め付けているのではないのでしょうか…? 私からのアドバイスはもっともっとスキーの本質的な部分である、滑ることの楽しさ、爽快感、斜面を克服する征服感などを求めるとまた違ったスキー感を見つけることができるのではと思います。「この技術をやらなければならない」ではなく「この技術を使えばこんなことができる!こんなことをするにはどんな技術が有効か…?」などと創造的にスキーを楽しむことによって更にスキーは面白みのあるスポーツになるのではないかと考えます。

私はデモンストレーターとして現役を退くことになりましたがもちろん今後もスキーは続けていく予定です。今までとは違った立場になりますが自分自身が滑る楽しさを求めるのはもちろん、経験を生かしスキー用具の企画開発、それに伴い使い方などシステムの構築などソフト面も含めた提案による新規スキーヤーの発掘やファミリーなどに目を向けて活動したいと考えています。私にとっての新しいスキー人生が始まるわけですがまた違ったスキーの楽しみ方を発見し生涯、スキースポーツを楽しんでいきたいと思っています。皆さんも是非、それぞれのスキーの楽しみ方を発見しより一層、スキースポーツを満喫いたしましょう!

◆ 助全日本スキー連盟・編集 ◆ ASAJ最新スキーテキスト 日本スキー教程 確定編 日本スキー教程 (3冊) 2003年度一版・2004年10月発売予定!	日本スキー教程 スキーへの誘い (3冊) 2003年度一版・2004年10月発売予定!	教育本部2002年度 オフィシャルブック 2003年度一版・2004年10月発売予定!	2002年度対応 改訂版 準指・指導員検定模擬問題集 2003年度一版・2004年9月発売予定!	▼ 既刊テキスト 好評発売中! ▼ 日本スキー教程 指導実技編 日本スキー教程 指導理論編 日本スキー教程 安全編 競技スキー教程 クロスカントリースキー編 競技スキー教程 フリースタイルスキー編 最新テキスト 好評発売中!	第39回全日本スキー技術選手権大会 技術選2002 DVD版も同内容で好評発売中! 2003年度一版・2004年10月発売予定!	第28回テニスタ強化合宿 デモンストレーターズファイル 2003年度一版・2004年10月発売予定!	2003年度一版・2004年10月発売予定! スキー指導の要点と検定のポイント 平川仁彦のスキー上達講座 バジテスト必勝講座 テクニカルクラウン完全攻略 最新スキー・テクニク 渡辺一樹
--	---	---	--	--	---	--	---

第40回 東京都スキー選手権大会(回転)

2002. 3. 9(土)長野県 白馬岩岳かもしかSLコース

●男子回転

順位	氏名	所属
1	長沼 豪	チームフォン
2	梅沢 望	アートのスポーツ
3	青柳 剛	ベネトン
4	伊藤 裕行	MAXIMUM
5	平澤 亮	ラッシュ
6	村山 高志	三鷹市
7	植松 繁	ラッシュ
8	山崎 匠	ICI
9	北澤 秀	若葉
10	沢田 陽由馬	アカデミー
11	小林 弘典	二十日石
12	寺岡 岳夫	青梅市
13	古川 信行	武蔵野市
14	中野 省	ライネ
15	皆川 元司	成城

●女子回転

順位	氏名	所属
1	大屋 響子	TEAM T.
2	川端 佑沙	中体連
3	村野 友紀	スラローム
4	石井 美紀	高体連
5	門上 詩織	三鷹市
6	松本 美里	中体連
7	金子 容子	ディップス
8	武内 千賀子	高体連
9	村山 沙弥	デサント
10	梅沢 亜樹	アートのスポーツ
11	三浦 佳代子	ヴェトラRC
12	室田 陽子	UNO
13	小高 恵子	ICI
14	八田 有加子	若葉
15	岩浅 敦子	GMC

第40回 東京都スキー選手権大会(大回転)

2002. 3. 10(日)長野県 白馬岩岳かもしかGSLコース

●男子大回転

順位	氏名	所属
1	岡澤 研太	チームフォン
2	森川 輝行	MAXIMUM
3	松山 祥太	チームフォン
4	長沼 豪	チームフォン
5	梅沢 陽由馬	アートのスポーツ
6	沢田 陽由馬	高体連
7	丹羽 達雄	二十日石
8	河辺 敏郎	ICI
9	植松 繁	ラッシュ
10	松本 大	GOD
11	平澤 亮	ラッシュ
12	伊藤 裕行	MAXIMUM
13	小林 弘典	二十日石
14	古川 信行	武蔵野市
15	中野 省	ライネ

●女子大回転

順位	氏名	所属
1	大屋 響子	TEAM T.
2	森川 順子	武蔵野市
3	村野 友紀	スラローム
4	石井 美紀	高体連
5	金子 容子	ディップス
6	川端 佑沙	中体連
7	小高 恵子	ICI
8	武内 千賀子	高体連
9	宮下 文	ICI
10	高橋 千晶	TEAM T.
11	川端 希沙	中体連
12	中島 圭子	エーデル
13	村山 沙弥	デサント
14	室田 陽子	UNO
15	斎藤 由佳	NTT東京

第23回 東京都スキー技術選手権大会

2002. 2. 3(日)車山高原スキー場

●男子決勝競技結果

順位	氏名	所属
1	五藤 伯文	スポーツファンクション
2	海野 義範	ヨシマルスキークラブ
3	萩原 功士	アスペンスキークラブ
4	堀 淳司	ホリデイスキークラブ
5	可児 徹	クラブワン
6	加津 隆	スノーウインドスキークラブ
7	佐藤 太崇	マイマイスキークラブ
8	瀧澤 宏臣	三井物産スポーツスキークラブ
9	細川 賀央	ベラーケ
10	倉澤 昌吾	ホリデイスキークラブ
11	喜多 正裕	ICIスキークラブ
12	西野 丈晴	三井物産スポーツスキークラブ
13	宮嶋 岳志	サンダーグスキークラブ
14	谷川 信雄	ヨシマルスキークラブ
15	長島 要介	マンシャフト シュネエー

●女子決勝競技結果

順位	氏名	所属
1	佐伯 幸	ロシニョールジャパン(株)スキークラブ
2	切久保 深雪	ゴールドウィンスキークラブ
3	吉田 美輝子	野辺山スキークラブ
4	宮田 苗帆	ICIスキークラブ
5	近藤 裕子	スポーツファンクション
6	村山 沙弥	デサントスキーチーム
7	水野 奈々子	ファインスキークラブ
8	芦田 美雪	トルベ・コムラード

第55回 東京都スキー連盟 クラブ対抗競技会

開催日:2002. 3. 2(土) 会 場:菅平高原 裏太郎ゲレンデ

(団体総合)

総合順位	団 体 名	成績
1	世田谷区スキー協会	54
2	チームフォン	28
3	スラロームスキークラブ	19
4	ヴェスタスキークラブ	17
5	アートスポーツスキークラブ	16
6	NTT東京スキー部	15
7	ヴェイラレーシングクラブ	14
8	東京都庁体育会スキー部	13
9	港区スキー連盟	12
10	青梅市スキー連盟	11
10	東久留米市スキー連盟	11
10	東京スポーツマンクラブ	11

<アルペン総合>

順位	団 体 名
1	世田谷区スキー協会
2	チームフォン
3	スラロームスキークラブ
4	アートスポーツスキークラブ
5	NTT東京スキー部
6	ヴェイラレーシングクラブ

<ノルディック総合>

順位	団 体 名
1	世田谷区スキー協会
2	東京都庁体育会スキー部
3	東京スポーツマンクラブ
4	K.S.C
5	渋谷区役所スキー部
6	ヴェスタスキークラブ

(基礎部門)

●クラブ表彰

順位	所 属 団 体	合計得点
1	エーデルスキークラブ	1,306
2	スラロームスキークラブ	1,303
3	ヨシマルスキークラブ	1,302
4	ラスカルスキークラブ	1,279
5	志賀高原スキークラブ	1,278
6	ダブルダイヤモンドスキーヤーズ	1,276

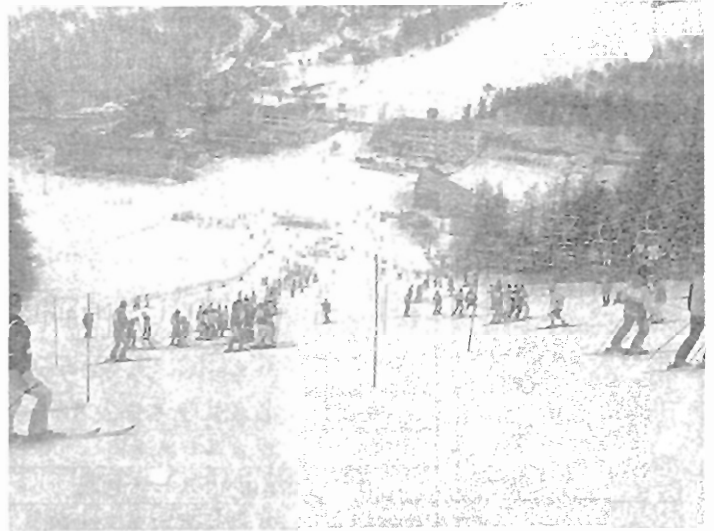
●フォーメーション

順位	チーム名	所 属
1	ブラックライン	ライネススキークラブ
2	ヨシマルC	ヨシマルスキークラブ
3	M女山本とワンワンキンキン	スラロームスキークラブ
4	エーデルAチーム	エーデルスキークラブ
5	アキコ&やまゆりダンサーズ	国分寺市スキー連盟
6	マーシー&サッチー	大原学園スキークラブ

●ペア

順位	チーム名	所 属
1	アスピンスキークラブ	アスピンスキークラブ
2	エーデルペアA	エーデルスキークラブ
3	タッチカーン	世田谷区スキー協会
4	M女(おんな)S男(おとこ)	スラロームスキークラブ
5	ヨシマルB	ヨシマルスキークラブ
6	エーデルペアB	エーデルスキークラブ

第55回東京都スキー連盟 クラブ対抗競技会



とっっても晴れ晴れ!

菅平高原

Hare

Ski & Snowboard Resort

ハーレスキーリゾート 長野県小県郡高森町菅平高原
☎0268-74-2137

加盟団体紹介

クラブ紹介

389 東海大学高輪スキークラブ 会長 西垣 昭

我がクラブは「東海大高輪スキークラブ」と名付けられ、設立から30年が経とうとしております。東京都のクラブ番号から中堅に属するクラブだと思えます。「東海大学」と言う名前が付いているため、学生のクラブと時々間違えられることがあります。発祥が高輪にあります「東海大学東京短期大学の卒業生が中心になり作られたのですが、現在は幅広い職種の社会人で構成されています。クラブ員には本名でなくあだ名（動物名）などと呼ばれる人が多く、非常に面白くユニークなメンバー構成になっています。

現在のクラブ員数は50名弱で年齢は35～40歳が中堅で大半をしめています。つまり、子供ができて経済的、社会的にも一番苦しい世代が多く、一年を通しての行事への出席率もかなり低い状態がここ数年続いています。また、このクラブでも見られる傾向でしょうが、若い人の入会が少なくクラブ員の活性化は乏しくなっているのが現状です。しかしそれなりに新しい人も毎年数人、入会しております。また、我がクラブは時代の流れに乗り、ホームページを開設しインターネットからの行事参加者も迎えています。是非、皆様もホームページを覗いてみて下さい。

URL <http://www.interq.or.jp/ski/takanawa/>

こんにちは・多摩市スキー連盟です! 391 多摩市スキー連盟 会長 菊池富美男

昭和40年代の終わり頃、万葉集にも詠われた「多摩の横山」が造成され、多摩ニュータウンへの入居が始まりました。様々な地方から人が移り住み、新しいコミュニティーが形成されました。多摩市スキー連盟はそんな時代に誕生したのです。

「袖ふれあうも、」の仲間から出発した草創期・・・北海道出身者が九州出身者にスキー手ほどきをしたりしました。「地域スキークラブ」の体をなした成長期・・・体協に加盟し、傘下には市役所スキー部やデフスキークラブも加わりました。市主催スキー教室に講師派遣もしています。

そして現在、多摩ニュータウンは熟成され、落ちついた街並みを保っています。

入居第一世代であるシニア会員はますます元気、70才を超えてもあちこちの山を渡り歩いています。HP(…www.tama-ski.com)等から入会した若手も負けじと技選やテククラに挑戦しています。入居第三世代である子供達にはジュニア1級保持者もいます。

準・正指導員27名うち教育専門委員1名、公認パトロール1名、アルペン競技者登録2名、フリースタイル競技者登録1名。多摩市スキー連盟はとってもとっても元気なのです!!

HOTEL SCHÖNWALD (ホテル シェーンヴァルト)

- 料金：(1名1泊2食付き、税別)
ホテル/¥8,500～ ロッジ/¥6,500～
- 客室：〈ホテル〉17室、〈ロッジ〉13室
- 定員：〈ホテル〉70名、〈ロッジ〉50名
※但し、年末年始は別料金 レンタルスキー有

お申込み、お問い合わせは、 ☎ 0261-75-2343
FAX 0261-75-3212
URL : <http://www.hakubagoryu.com/s-wald>

〒399-9211 長野県北安曇郡白馬村新森

◆白馬五竜・いいもりケレンテ内の便利なホテル◆

ホテルを出ると目の前がグレンデという最高の立地で、ワンキックでリフトまで行けるチロル風の「ホテルシェーンヴァルト」。知名人を知るオーナーはオー・ストリア国家検定スキー教師で、上達のコツをアドバイスしてもらってはいかが?



私たちのクラブは昭和51年に設立し、今シーズン終了をもって26年を経過した事になります。加盟団体多数ある中、東京のト真中日本橋に事務所を構えているのも数少ないと思っております。日本アルペンスキークラブの今はなき故坂野幸雄先生のご推薦を得て、発足した当初から、クラブ是を「和」としてクラブ員皆これ平等であり、資格者も一般クラブ員も遠慮なく話し合いができるようにと同好の志が集まったスキー集団で、その精神は今も変わらず受け継がれてきています。現在今年合格したばかりの準指を含め資格者はパトロール、ポールセッター、テクニカル等含め40名クラブ員とその会友を合わせて老若男女総勢80名ほどで活動しています。上部機関のSAJ、SATには総務本部、教育本部、競技本部にそれぞれ専門委員を輩出して活動しているところです。主な行事は正月と3月のスクール、毎月の合宿を計画実行しその都度例会を開催して反省と計画の強化を図るようにしています。シーズンオフにはゴルフ、テニス等仲間と接する機会を持ち相互の融和を図るよう努めています。来るべき30年の節目に向けてスキーの楽しさ、生涯スポーツの仲間の育成に努力して行きたいと思っております。末筆ですがクラブのホームページを開設していますので興味のある方は覗いてみてください。SATの皆様今後とも宜しくお願いいたします。

URL <http://www12.u-page.so-net.ne.jp/momo/kazu1010>



クラブ紹介

395 日本電子スキー部 代表 高橋 豊

私達、日本電子スキー部は、昭島市にある日本電子株式会社の同好会の一つとして昭和39年に設立され、立川市スキー連盟の紹介により、昭和52年、都連に加盟しました。総部員数は約130名ですが、その多くは現役を引退した年輩社員であり、20代から30代の若手30名ほどが中心に活動しています。発足当初は我流の競技スキーが中心でしたが、最近では有資格者の増加に伴い（指導員3名、準指導員4名）、基礎スキー志向者が増えています。主な活動内容は、年末の志賀高原合宿から始まって、1月菅平高原基礎合宿、2月戸狩ポルトレーニング、2月バスツアー、3月菅平高原基礎合宿などです。また、競技愛好者は、各種レースに出場しています。オフシーズンには、納会を兼ねたテニス合宿なども行っています。

最近では、スキー人口の減少に伴い、新入社員がなかなかスキー部に入っていないという問題を抱えています。行事にスノーボードやファンスキーを取り入れ、誰でも気軽に参加できるクラブづくりを目指して活動したいと思っています。



クラブ紹介

396 大学生協スキークラブ 会長 中村 勉

S'51年この名称で連盟に加盟申請し、翌年承認していただきました。当時私は全国大学生協同組合の顧問の立場に居りましたので、大学生協が主催するスキー行事は、企画から実施まで凡てを統括して、スキークラブは責任をもって実行する。この条文を作りました。スクールは志賀高原、蔵王、赤倉、白馬、妙高、この5ヶ所は常時集合して来ますが、特に赤倉、妙高は雪の状況で3月になるとこちらで中止する事が多くありました。

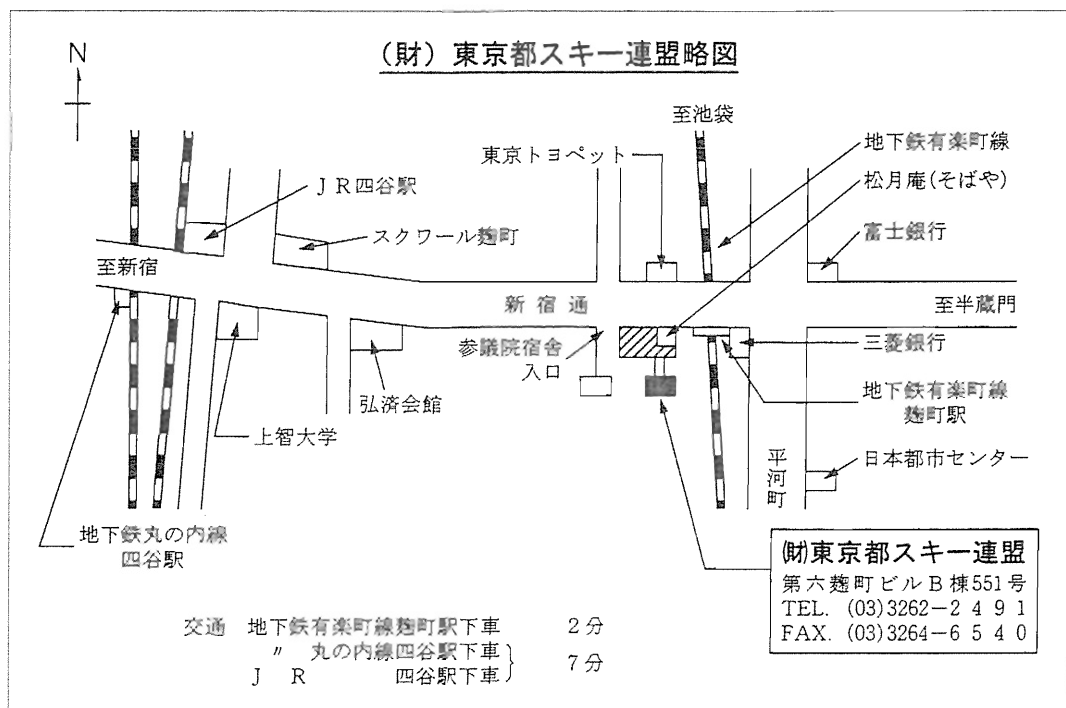
志賀を本校としており、毎月バツヂテストを行うので200名、他の所は100名～150名、日程は1月20日頃から始まりますが、出発が毎週月曜夜東京発、金曜の正午頃現地発東京夜着、3泊4日で行って行っていました。私は丁度今頃、5ヶ所の宿館に生協の部長と挨拶に廻り、夕食の時は現地の校長さんも一緒にして語り合うのが年中行事としていましたが、心配りの気持を常に持っていないと人に物事を教える事は絶対に出来ないと思っています。それが何時の頃か覚えていませんが、スキーを教える事が自分の修行の場だと思えるようになってきました。

平成14年度(2002年度) 準指導員検定合格者

氏名	団体名	氏名	団体名	氏名	団体名
服部 美紀子	東京アマチュアスキークラブ	鈴木 裕	文京区スキー連盟	浜松 直親	ラスカススキークラブ
小杉 弘之	東京瓦斯スキー部	石川 健次	小平市スキー連盟	南波 祐介	日本レーシングスキークラブ
宮林 里絵	八王子スキー連盟	小出 葉子	雙葉スキークラブ	藤枝 美恵	渋谷区役所スキー部
松村 紀久美	八王子スキー連盟	内田 啓之	とぎスキークラブ	松岡 雄太	てふてふスキークラブ
岩本 望	世田谷区スキー協会	佐藤 律子	調布市スキー連盟	池田 由希子	青山学院大学イフ基礎スキー
渡辺 学	熊笹スキークラブ	鈴木 美貴子	調布市スキー連盟	池田 尚史	青山学院大学イフ基礎スキー
國井 光広	杉並区スキー連盟	丸山 美佳	東京アルムスキークラブ	堀 あかね	ナトゥーア・シー・クルップ
安食 仁	東京都庁体育会スキー部	吉田 賢一	東村山市スキー連盟	府内 曉美	デサントスキーチーム
佐久間 洋子	東京都庁体育会スキー部	岩坂 吉隆	狛江市スキー協会	桑野 英人	シュアスキークラブ
齋藤 孝夫	東京都庁体育会スキー部	川井 哲也	狛江市スキー協会	石野 勝彦	武蔵村山スキー協会
佐藤 信哉	港区スキー連盟	金井 嘉伸	スノーダンネットクラブ	松田 由美	京王電鉄スキークラブ
小池 真由美	港区スキー連盟	長澤 正志	スノーダンネットクラブ	栗田 ノエミ	東京ミタカファーストスキークラブ
岩井 康子	板橋区スキー協会	志村 明日香	フロンティアスキークラブ	鈴木 友恵	ミワサススキークラブ
真保 ゆう	東京燕スキー倶楽部	山根 昭彦	ソニースキークラブ	池田 めぐみ	スキーサークルスリム
岩尾 謙一	立川市スキー連盟	山崎 達也	ソニースキークラブ	赤羽 昭吾	NASスキークラブ
濱野 智広	立川市スキー連盟	松浦 智	ソニースキークラブ	内海 和紀	東芝府中工場スキー部
細野 奈津恵	クリスタルスキークラブ	水越 裕美	ESMスキークラブ	大里 智	野辺山スキークラブ
楠葉 幸恵	ホワイ・ベア・クラブ	田家 敦史	ESMスキークラブ	秋山 勝徳	スノーベリースキーチーム
木村 昭彦	東京石楠花会	小林 康之	スノーベッカースキークラブ	鳥袋 克也	スノーベリースキーチーム
野村 淳一	東京石楠花会	太田 一宏	スノーベッカースキークラブ	鈴木 和弘	スノーベリースキーチーム
岸 正道	スノーウインドスキークラブ	下野 由美	国分寺市スキー連盟	上田 泰男	スマイルスキークラブ
松尾 秀則	スノーウインドスキークラブ	中島 和樹	国分寺市スキー連盟	西川 久美	エイトイイトスキークラブ
新 芳嗣	スノーウインドスキークラブ	池田 俊雄	ポールスターズスキークラブ	田中 敏夫	エイトイイトスキークラブ
和田 真枝	スノーウインドスキークラブ	浜野 智之	ネーゲルスキークラブ	鹿又 善信	荒川区スキー連盟
織間 克文	三鷹市スキー連盟	鈴木 克昭	ネーゲルスキークラブ	久留 紀子	ヨシマルスキークラブ
土屋 好代	スラロームスキークラブ	金山 由美子	大田区役所スキー部	中條 祐輔	ヨシマルスキークラブ
武田 健一	スラロームスキークラブ	大石 英男	大田区役所スキー部	長岡 淳子	ICIスキークラブ
碓井 保文	農林水産省スキークラブ	田口 俊之	スノー・ハーモニー	関根 真佐子	ウィッツ
畔上 由起	農林水産省スキークラブ	尾島 正	青山スキークラブ	大井田 浩章	ウィッツ
桑本 武	エーデルスキークラブ	鈴木 一嘉	青山スキークラブ	渡部 正之	JR東海東京スキークラブ
黒岩 英隆	エーデルスキークラブ	原 敏満	青梅市スキー連盟	下平 渉	トヨタ自動車東京スキークラブ
指宿 知義	エーデルスキークラブ	土方 俊哉	青梅市スキー連盟	木部 正樹	トヨタ自動車東京スキークラブ
星野 清彦	エーデルスキークラブ	池田 真裕美	中野スキークラブ	増岡 茂	スキー・バル・モンタニア
藤本 正義	エーデルスキークラブ	浅見 優子	ラ・ネージュ	今田 裕治	日本エアシステムスキー部
伊藤 信貴	武蔵野市スキー連盟	刀襦 浩子	クラウンスキークラブ	松村 和正	スポーツファンクション
落合 有里子	武蔵野市スキー連盟	高山 和人	ジャスク	天野 寛夫	スポーツファンクション
舟山 雄一	朝日新聞東京本社山とスキーの会	星田 宗隆	スキー同人イーグル	神田 潤	スポーツファンクション
長瀬 信之	足立スキークラブ	新村 慎	エビスマスキークラブ	花開 義博	アルパルヴェイルスキークラブ
湯山 貴裕	TWS	笠谷 勝	東海大学高輪スキークラブ	小林 昌之	グイラ・レーシングクラブ
本間 克幸	気象庁スキークラブ	清水 則行	東海大学高輪スキークラブ	野中 潔	スポーツユニティ
山下 義広	KDD山岳会	堀 越利征	多摩市スキー連盟	小坂 琢郎	カジマスキークラブ
遠藤 浩史	若葉スキークラブ	栗田 潤一	リーゼンスキークラブ	牛場 由佳	イエティスキークラブ
吉田 真紀	若葉スキークラブ	嶋 我孝利	リーゼンスキークラブ	近藤 みずき	イエティスキークラブ
内田 義樹	足立区スキー協会	新井 由希枝	特別区職員文化体育会スキー部	杉原 紀子	クラブバゲース
小林 慎	府中市スキー連盟	三好 弘彦	T.P.Sクラブ	谷 雅剛	チームフォン (TEAM VON)
沼崎 克利	白馬スキークラブ	今去 敏介	慶応義塾大学ショカール	横屋 一平	スキークラブ新鮮組
青木 漬枝	白馬スキークラブ	茂木 正	羽村市スキー連盟	大澤 健太郎	スキークラブ新鮮組
古谷野 友紀子	練馬区スキー協会	相川 瞳	アスペンスキークラブ	飯塚 弘一	スキークラブ新鮮組
中島 弘智	文京区スキー連盟	森 泉大樹	ラスカススキークラブ	栗田 卓	ホワイ・ベア・スキークラブ

平成14年度(2002年度) 準指導員検定合格者

氏名	団体名	氏名	団体名	氏名	団体名
原 吉 男	ホワイトウイングススキークラブ	土 橋 求	ホワイトブルーススキークラブ	宮 田 久	スノースケープ
神子沢 貴 彦	ホワイトウイングススキークラブ	久 保 圭 吾	ビーエス21東京	高 山 嘉 人	たまこスキーチーム
西 谷 亨	ホワイトウイングススキークラブ	小 出 恵利子	ビーエス21東京	赤 間 樹	ニューアドベンチャースポーツアソシエーション
奥 山 万理子	ホリデイスキークラブ	渡 利 信 夫	ビーエス21東京	駒 田 美 和	ウインテックスキークラブ
長 島 彩 子	ホリデイスキークラブ	近 藤 涉	スキークラブ・グース	中 村 大 蔵	ウインテックスキークラブ
牧 田 賢 治	ホリデイスキークラブ	牧 野 友 視	スキーショップコウノスキークラブ	田 代 耕 一	トムテスキークラブ
畑 貴 久	タントスキークラブ	宮 下 丈 司	スノースケープ		



☆ホームページ開設!!

URL <http://www.sat.or.jp>

※ご要望・不都合な点はFAXで都連までお願いします。

編集者

委員長 塚 本 哲 夫
副委員長 花 田 知 之
編集委員 三 瓶 一 男 蒔 野 秀 治 海老沢 晃 土屋 東 明
矢 島 かおり 伊 藤 裕 子 渡 辺 里 美 打 道 隆
加 賀 陽 子 小 出 千 恵 子 村 山 真 三